

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



手前：ツグミ 奥：ハチジョウツグミ

奄美にも本格的な冬が訪れました。風が強くて体感温度はかなり低く、こたつにずっともぐりこんでいたいです。

こんな寒い中、冬鳥たちは元気に飛び回っています。今年はシロハラが多いですね。ハクセキレイを街中でもよく見ますが、今年は多いのでしょうか？ カモ類も今年はどんなものが渡ってくるのか楽しみです。たまには迷鳥でも渡ってきたらかなりおもしろいなあとも試してみたり。

鳥以外にも、遠い旅をしてきたアサギマダラがヤマヒヨドリバナやツワブキに集まり乱舞していてとてもキレイです。サザンカやツバキもそろそろ咲くころでしょうか？

列挙してみると冬は見所がたくさんありますね。北風が強く外に出づらいですが、観察にはもってこいの季節です。どれだけ自分に活をいれて外に出られるか・・・せっかくの楽しみを無駄にしないように観察に出てみたいと思います。みなさまも散歩がてら観察してみたいはいかがでしょうか。

(吉田)



# 今の時期に見られる動植物



オオバカンアオイ

常緑広葉樹林内の林床に生える大型の多年草。葉は大型で厚く、基部は心形状矢じり形。花柄、萼筒ともに毛がある。



モクビャクコウ

奄美大島、徳之島、沖永良部島、与論島に分布。波しぶきのかかるサンゴ礁原や岩上に生える30～80cmの小低木。



ヨタカ

旅鳥として奄美大島や徳之島に渡来する。くちばしは小さいが、根本の方が幅広くて扁平なため、口を開けると大きい。



シロハラ

奄美では冬鳥および旅鳥として渡来する。農耕地などで採餌をする。近づくと鳴きながら飛び去る。



アマミセマダラマクソコガネ



オオシマセンチコガネ



マルダイコクコガネ



オオシマエンマコガネ

## 今季の一枚 「フン虫」

フン虫とは、ほ乳類のフンをエサとする虫の総称です。奄美には約36種類のフン虫が生息しています。

奄美のフン虫たちはアマミノクロウサギやイノシシのフンに依存しているため、それらがいない場所には生息することはできません。なのでアマミノクロウサギなどが減ればおのずとフン虫も数を減らします。一つの種のフンにたいして、数種が関わっています。生態系は決して単純ではなく、複雑なものであるとフン虫は教えてくれます。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は  
**喜界町**  
です



喜界町全景

喜界町は、奄美群島最北に位置する周囲 48.6 km の小さな島で、世界第 3 位の隆起速度を誇り今なお昇り続ける隆起サンゴ礁の島です。



喜界町の **花** 【リュウゼツラン】

長い歳月をかけて様々な自然環境を耐え抜き一度だけ見事な花を咲かせるという根強さにあやかって、喜界町の町花に定められました。



おすすめ

## 観光名所「百之台／キビ畑の一本道／夕日の散歩道」



### 【百之台】

喜界島は年平均 2mm という世界的にもトップクラスのスピードで隆起してきた隆起サンゴ礁の島です。この百之台は喜界島の最高所に位置する高台地で、最高点は 211.96m あります。

目の前に広がる広大な太平洋線は丸みを帯び、南国情緒あふれる植物群が彩る風景は吸い込まれるような穏やかな癒しの空間で、多くの人がふらりと訪れる好スポット。奄美十景のひとつです。(空港から 20 分)

### 【キビ畑の一本道】

サトウキビが基幹作物の喜界島では、至る所にキビ畑の農風景が見られます。中でも島の北部にあるサトウキビ畑を空の果てまで縦断するようなまっすぐな一本道は壮観。その目に見えるところまでで 2.5km、夏には地下ダムのスプリンクラーが織りなす虹のアーチが真っ青な空に映え、思わず駆け出したくなる気持ち良さです。(空港から 15 分)



### 【夕日の散歩道】

島の最西端に位置する遊歩道で、長い歳月にわたって波しぶきに打たれ、色々な形をしたサンゴ礁が眼前に広がる 2.2km の散歩道です。サンゴ礁のダイナミックな岩肌とそれらを覆う隆起サンゴ礁植物群落が夕陽を浴びてつくられる影のコントラストがとてもロマンチックです。この隆起サンゴ礁上植物群落は国の天然記念物にもなりました。(空港から 10 分)



【喜界町 企画課】

# いきもののふしぎ ~ヤモリのはなし~

奄美の一番身近で馴染みのあるトカゲの仲間はヤモリでしょうか。しかし、そのヤモリの中にも何種類かいるのをご存じですか？ 今回は、身近なヤモリを紹介します。これを読んでお家に住んでいるヤモリの種類を調べてみてください。



## ヤモリとは？

トカゲの中にはいくつかのグループがあります。その中の一つにヤモリ科があり、ヤモリ科のものを総称としてヤモリと呼びます。イモリと混同されやすいですが、イモリは両生類です。漢字で書くとヤモリは「家守」、イモリは「井守」。陸なのか水の中なのか、漢字にすると分かりやすいですね。

## ヤモリの形態・生態

**尾長** (Tail length)  
**頭胴長** (Head-body length)

まぶたは閉じられない (Eyelids do not close)

危険などを感じるとしっぽが切れます。 (Tail can be lost when feeling danger)

脱皮をします (They shed their skin)

種類によって声の大きさや頻度に差がありますが、鳴きます。 (Sound varies by species, but they chirp)

ヤモリは、垂直の壁や天井にも張り付くことができます。 (They can cling to vertical walls and ceilings)

卵をもったメス (Female with eggs)

卵 (Eggs)  
卵は2個産む。卵の表面はねばついていて、壁などにくっつくことができます。 (They lay 2 eggs. The surface is sticky and can stick to walls.)

卵孵化 (Egg hatching)

子ども (Child)

まるで忍者のようだね!! にんにん☆ (They look like ninjas!!)

お家のヤモリは種類によって住み分けをしている、という話も聞きます。みなさんのお家ではどうですか？ (They live in different parts of the house depending on species. How about yours?)

ぼく2階 (I live on the 2nd floor)  
ぼく1階 (I live on the 1st floor)

## なぜヤモリは壁を登れるの？



どんな所でも登ることができるヤモリ。いったい足の裏はどのような構造になっているのでしょうか。

吸盤でも接着剤でもない、足指にびっしりと生えた細い「毛」によって垂直だろうが逆さまだろうがどんな場所でも登ることができます。

ヤモリの足指には、片足で約 50 万本の毛が生えており、これがさらに数百本の細い毛に枝分かれをしています。

そして、この毛と壁などの面が「ファンデルワールス力」と呼ばれる、分子と分子がひきつけあう特別な力でくっつくので、どんな面でも張り付き、登ることができるのです。



## 生物模倣技術

生物の持つ構造や仕組み、形状などを工業製品に応用しようという生物模倣技術（バイオミメティクス）の研究や製品開発が行われています。その一つにヤモリの足の構造を取り入れたテープが開発されています。このテープは、はがしたい時に簡単にはがせ、接着面を汚さなかったり、どんなものにも接着する特徴があるそうです。開発がもっと進めばいつの日か、人が壁を登る日がくるかもしれません。

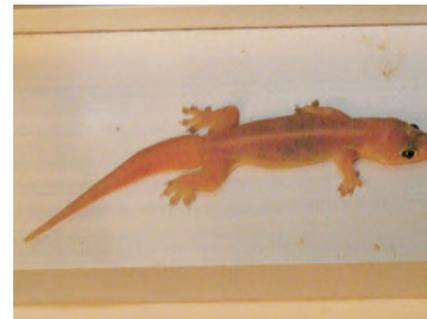
## 奄美群島にいるヤモリ

全部で5種類います。



### アマミヤモリ

分布：小宝島、奄美大島  
すみか：人家の周辺や林  
頭胴長：5.5～6mm  
皮膚に変色能力をもつ。背面は微かな黄色みを帯びることが多い。



### オンナダケヤモリ

分布：奄美大島以南の南西諸島  
すみか：人家やその周辺  
頭胴長：4～5.5mm  
体色は灰色だが、黒っぽい模様や白斑をもつ個体もいる。



### ミナミヤモリ

分布：九州南部および南西諸島の大部分  
すみか：薄暗い建築物  
頭胴長：5～6.5mm  
背面は灰色の地に、ややはっきりした黒っぽい斑紋をもつ。



### タシロヤモリ

分布：奄美群島・沖縄諸島・先島諸島  
すみか：人家やその周辺  
頭胴長：4.5～5.5mm  
ホオグロヤモリと形態は似るが、本種は背面にいぼ状の鱗があり、尾に輪のような溝が発達し、尖った大型鱗が並ぶ。



### ホオグロヤモリ

分布：奄美大島以南の南西諸島全域  
すみか：人家やその周辺  
頭胴長：4.5～6mm  
船などによって運ばれてきた外来生物。原産地がどこであるかは分かっていない。

**ホオグロヤモリについて**  
大和村にあるセンターでも、今年になってから目につくようになりました。それまでは名瀬周辺には見られていましたが、どんどん分布域を広げています。分布域が広がれば、在来種であるミナミヤモリやオンナダケヤモリの住む場所をうばってしまい、これらの種が見られなくなってしまうかもしれません。みなさんのお家やその周辺で、ホオグロヤモリしか見ないということはありませんか。私たちの身近な場所でも生態系の変化が起こっているかもしれません。

写真協力：永井弓子 制作協力：永井弓子 参考文献：日本のカメ・トカゲ・ヘビ（山と溪谷社 解説：富田京一） 奇跡のテクノロジーがいろいろ！ すごい自然図鑑（PHP 研究所 監修：石田秀輝） 自然から学ぶアイデアの源泉ネイチャーテック 天井を走り回るヤモリの秘密（http://j-net21.smrj.go.jp/develop/nature/entry/2011071101.html） 栗田隆英, Current status of the introduced common house gecko Hemidactylus frenatus on Amamiyoshima Island of the Ryukyu Archipelago Japan



# センター & 協議会 News



## 第15回やせいのいきもの絵画展

とき：平成26年12月13日（土）～平成27年2月1日（日）  
テーマ：奄美の生きもののフシギなすがた・かたち

今年度は、それぞれの生きものが持つ個性豊かな外見にスポットをあてたテーマとしました。応募総数は228点。応募していただいた全ての作品を展示しています。子どもたちが描いた感性豊かな作品をぜひ見に来て下さい。（休館日：月曜日、12月29日～1月3日）



## 第15回やせいのいきもの絵画展【賞状授与式】

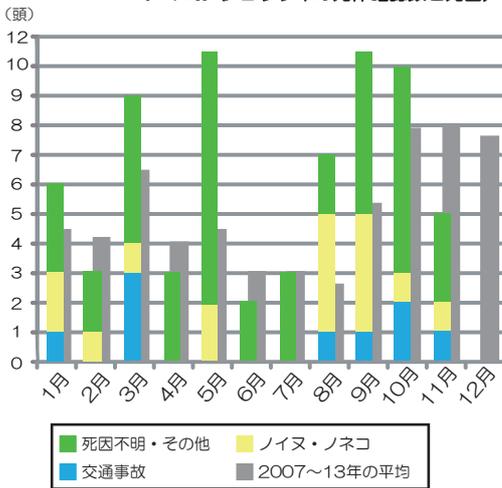
とき：平成26年12月13日（土）

応募総数228点の中から12点を選出し、入賞者に賞状と副賞を授与しました。賞の内容は、生きもの大賞、あざやか賞、ユニーク賞、審査員特別賞です。協議会会長より賞状を授与された子どもたちは、緊張した面持ちで受け取っていました。



## アマミノクロウサギ死体確認数

(2014年11月末日時点の  
アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



## 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

**安全運転** 特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

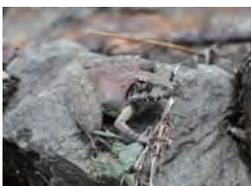
- 🚫 **捨てない**  
最後まで責任をもって飼いましょう。
- 🚫 **マイクログリップ**  
ペットの確実な身元証明になります。
- 🚫 **避妊・去勢手術**  
繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることにあります。
- 🚫 **放し飼いをしない**  
ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。



## 🐾 犬・ねこに関するお知らせ 🐾

ペットに対する、日頃からの災害の備えをしましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。その他には、迷子になった時のためのマイクログリップや迷子札の装着。エサや薬など備蓄品の用意もおきましょう。また、ケージがあると避難する際や避難場所で役立ちます。

## いきものおもしろ写真館



リュウキュウカジカガエル  
石になりきっているカジカガエルです。本来は、黄色っぽい色合いをしています。このカジカガエル以外にも体色が白っぽく変化しているのを見たことがあります。体色が変化しやすい種なのではないでしょうか？

## 編集後記



奄美の山の幸「ムベ」。数年越しの思いが叶い、ついに食べることが出来ました。手に届くムベがなかなか見つからず、見つかったとしても、熟すまでの野鳥との闘いにやぶれ。やっとやっとの思いでした！甘くてほんとに美味しかったです。来年も絶対この味覚をゲットしなくては！